

映画と講演の会

「人生、ここにあり！」

NPO法人「ぼればれ・ちば」では、イタリア映画「人生、ここにあり！」の上映と講演の会を開催する。

「人生、ここにあり！」は、イタリアで始まった本当の「しあわせ革命」を映画化した作品。イタリアでは、1983年バザリア法の制定によって、次々に精神病院が閉鎖された。「自由こそ治療だ！」という画期的な考え方から、それまで病院に閉じ込められ、人としての扱いを受けていなかった患者たちを、一般社会で生活させるために地域にもどしていった。

この映画はそんな時代に起こった、ある施設の実話をもとにした作品で、これまでイタリアでも語られることの少なかった実話を、思慮深く細やかな感性で笑にあふれた人間賛歌に仕立て上げた本作は、イタリア本国で40万人を超える大ヒットとなり、社会現象にまでなるほど人々の関心を集めた。

「誰にもいかにオカシクても、必ず何かを持っている。」という思想に基づき、「違いを受け入れ、さまざまな人が交り合う社会を形成するイタリアの懐の深さが、先品全体にあふれている。

映画の上映とともに、イタリアで研修経験のある順天堂大学・四方田清氏がイタリアの精神保健事情等を講演する。

なお、「ぼればれ・ちば」では、上記の映画と講演の会を準備するため、協力者を募集している。

映画と講演の会
 会場 白井市文化会館大ホール
 日時 8月26日(日)
 映画 1回目10時30分～12時30分
 2回目14時30分～16時30分
 講演 13時15分～14時
 連絡先 NPO(法)ぼればれ・ちば事務局
 TEL 047-498-2400(宮沢)

西印旛地区での精神疾患を持つ人たちへの支援について(要約)

「人生、ここにあり！」上映・講演会の準備を進めている、指定就労継続支援B型事業所「ほけっと」施設長の宮沢友子氏は、精神障害者の社会復帰支援体制の現状について、次のように述べている。

5年前の平成18年6月精神障害者共同作業所「ほ

けっと」を開設した。当時、白井市、印西市、本埜村、印旛村で構成される西印旛地区では精神保健福祉、医療領域の社会資源が非常に乏しく、特に社会復帰施設は全くなかったため、とにかく社会参加、日中の居場所が必要と考えた。

この5年間で精神障害を持つ人(手帳所持者は

上記2市2村で1997年から、23年3月末、旧印旛村・旧本埜村を含む印西市および白井市で367人へ倍増し、医療助成を受けている人たちは431人から、1123人と2.4倍に増えている。しかし、精神障害者を支援する施設は当所のみ、社会資源の乏しい状況は5年たっても変わっていない。「ほけっと」の利用者は5年間で延べ利

用者は41人、手帳保持者数と比べれば約1割の人が利用したに過ぎない。「ほけっと」だけでは状況の異なる人たちに合った支援を提供することはできず、新しい利用者を受け入れることも難しい。西印旛地区には、日中の居場所だけでも少なくとも、数か所の地域活動支援センターが必要であり、更に、就労支援を目的とする

施設、生活支援を目的とする施設が必要である。そしてまた、居住施設(グループホーム、生活ホーム)を作っていくことも必要になる。

当事者、家族など関係者だけでなく、社会全体で取り組んでいけば、きっと実現できる。とは信じているものの、先へ進むためには、今までも増して、多くの方々の知恵と力が必要だ。